

ネイチャーライブ六甲

冬ならではのグランピング

5棟限定のコテージ型グランピング「ネイチャーライブ六甲」では、真冬ならではの六甲山を満喫する体験ができる。防寒対策にもワクワクする要素を盛り込み、冬限定特別ディナー＝写真下＝から冬の星空ガイドまで、今しかできない盛りだくさんのアクティビティが、宿泊料金に飲食料金などを合わせた「オールインクルーシブ」で楽しめる。

山頂付近の森の小道を抜けると、北欧のビレッジのような独特の世界観を持つ、ラグジュアリーでプライベート感あふれる非日常空間が現れる。コテージからは空気の澄んだ冬だからこそ、空と街と海が融合した美しい大絶景が広がる。雪がちらつくと、さらにその魅力が引き出され、冬の六甲山の世界に没入できる。



冬限定特別ディナーは、濃厚なうまみの兵庫県ブランド鴨を、特製グリル窯で豪快にじっくりと焼き上げる「但馬鴨のまるごとロティサリーグリル」。専属グランピングアテンダントの手ほどきで、本格的アウトドア料理の野趣あふれる調理方法を体験。グランメニューである神戸牛塊肉のロースト、和牛トマホーク肉のステーキも選択可能だ。

星空ガイドでは、グランピングアテンダントが冬ならではの夜空を解説。万全の防寒として、無料貸し出しの着る寝袋「ペンギンスーツ」＝同上＝を身につければ、澄みきった空気の中で、快適な星空観賞が堪能できる。☎078・891・1250。詳細はホームページ<https://naturelive.co.jp/>

神戸北野テラス

ミナト一望「世界の朝食」を

神戸北野ホテルの山口浩シェフと言え、師匠でフランスの偉大な料理人ペルナール・ロワゾーから公式に再現を認められた、ヨーロッパスタイルの「世界の朝食」＝写真上＝が憧れの的。そんな豪華な朝食を神戸の街を眺めながら味わえるのが「神戸北野テラス」＝同下＝だ。

昨年12月2日、諏訪山公園の一角にオープンした。レセプションには700人にも上る人があふれ、期待の高さが話題のスポット。

2000年、神戸北野ホテルのリニューアルオープンとともに誕生した「世界の朝食」は、その時々「今」を見据えたアップデートを常に行っているからこそ、変わらない新鮮さを保ち続けている。

素材の持ち味を尊重するペルナール氏のエスプリの詰まった品に



は「文化と歴史とともに食を楽しむでほしい」という山口シェフの思いが込められている。

ヨーロッパの朝食には甘いパンが多く、サラダが出ないスタイルなので、野菜やフルーツを使ったジュース形式の「飲むサラダ」を考案。フルーツを一番おいしく提供したいと、鍋を使わない新製法でコンフィチュール(ジャム)を仕上げた。兵庫県産の花のはちみつを味わうため、ヨーグルトを開発した…。テーブルに並ぶすべてに、こうした物語が息づいている。

日本人の大好きな「一番だし」の提供も忘れない。眼下の景色に見とれながら一皿ずつ丹念に味わう至福を、時間を忘れて過ごしてほしいという。☎078・894・3200。詳細はホームページ<https://www.kobekitano-t.jp/>



高取山で満喫「卓球登山」



卓球をする上原律子さん。お客さんの対戦相手を務めることもいずれも神戸市長田区高取山町、中の茶屋

卓球を始めたのは30年ほど前。ふと訪れた新長田の卓球場で、年



卓球場の外観。看板がいい味



茶屋の内部はレトロ感いっぱい



人気メニューのうどん。寒い季節は熱々がうれしい

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。(毎月第3月曜日に掲載します)

外国人や高校生にも人気



ねぎし・まり アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう」など。

配の人が生き生きと球を追っているのを見て驚いたとか。「卓球はほかの競技と違って、おぼあちゃんでも若い人に勝てる。子どもが大人に、女性が男性に勝てる。面白いスポーツだな」と思ったと上原さん。そこから興味を湧き、地域のクラブで練習を始めた。そのうち、高取山の茶屋に卓球場があることを知り、中の茶屋に通うようになった。

神戸ゆかり 投輪場も併設

「卓球は世界共通。外国人の子どもたちも卓球をしに来るし、ランニングで登ってくる高校生と対戦することもありますが、おひとりでも気軽に遊びに来てほしい」。少し前から膝を痛めていて、急な階段の下りなどはつらい状態だが、卓球はさすがの腕前。手が空いていれば、1人で訪れても相手をしてくれるぞと。

ほかに、投輪場もある。投輪は、神戸港にやってきた外国船の船乗りから伝わり、国内では神戸が発祥とされている。かつては投輪場を併設した茶屋も多かったが、今はほとんどなくなってしまう。卓球は1人1時間300円で、ラケットと球は貸してもらえ。コートは350円(トースト付き400円)、うどん600円、缶ビール500円ほか。高取山に登って景色を楽しみ、卓球で汗をかく、コーヒーで一息。ぜひ立ち寄ってみてほしい。

◆【石群ツアー】大阪城の石垣にも使われた巨石を見に行こう！ 2月17日10時～11時半、県立甲山森林公園管理事務所前集合(阪神「西宮」駅から阪神バス鷺林寺線「県立甲山森林公園前」下車)。西宮市立郷土資料館の学芸員による解説＝写真＝を交えながら公園内の巨石を訪ねる。小学生以上対象。先着20人。荒天中止。電話にて受付。同公園管理事務所☎0798・73・4600

◆森の音COOL JAPAN! 3月15日まで。10時～17時。ROKKO森の音(ね)ミュージアム(六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「ミュージアム前」)。江戸からくり＝写真＝やジャポニスムに関する所蔵品や解説パネルの展示。手回しオルゴールでのアニメ曲演奏体験コーナーを特設。大人(中学生以上)1500円、小人(4歳～小学生)750円。同ミュージアム☎078・891・1284

◆森のラッキータイム「森のおひな様をつくろう!!」2月17日、24日10時半、11時15分、13時半、14時15分(各回40分程度)、神戸市立森林植物園(神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス)。マテバシイのどんぐりや、ヒマラヤスギの球果のりん片やシャリンバイの種子などの自然素材を使ったハンドメイドの「森のおひな様」＝写真＝を作る。講師は森林植物園スタッフ。各回定員20人。各開催日の1か月前から電話などで申込開始。参加費200円(別途入園料高校生以上300円、小・中学生150円)。同園☎078・591・0253

◆春よ来い♪冬芽も春を待っている♪ 2月10日10～15時、JR「新三田」駅集合。新三田駅一太池川沿い林道一県立有馬富士公園(自然学習センター)一新三田駅。のどかな田園地帯を通り、1時間の緩やかな林道を歩く。流紋岩露頭エリアから有馬富士公園に入り、かやぶき民家付近で昼食。午後は野鳥や樹木を観察し＝写真＝、自然学習センター館内を見学した後、意見や感想を話し合い解散する。講師は六甲山自然案内人の会のメンバー。弁当、飲み物、雨具など持参。参加費300円。予約不要。雨天中止。六甲山自然案内人の会☎080・5348・6355(19～21時)

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページ<http://653daigaku.com/>

六甲山大学 ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山大学・情報凝縮サイト 653daigaku.com

わたしたちは 六甲山大学 の活動を応援しています

協賛企業 Daiwa House TAKENAKA